

報告書

Society for Glycobiology 2023 annual meeting にてポスター発表

2023年11月5日～8日に米国ハワイ州ワイコロアヴィレッジで開催された Society for Glycobiology 2023 annual meeting (糖鎖生物学会 2023 年大会)に参加しました。本学会には、糖鎖に関連した研究を行う世界各国の研究者が参加し、活発な討論が展開されていました。

私は、「Digestion of *N*-glycolylneuraminic acid-containing glycans in the diet by sialidase (食餌中の *N*-グリコリルノイラミン酸含有糖鎖のシアリダーゼによる消化)」という題目でポスター発表を行いました。本研究では、ヒト体内で生合成されないシアル酸分子種が体内で蓄積する機構を明らかにする目的で、食餌中の糖鎖に結合したシアル酸が消化、吸収される機構を検討しました。その結果、糖鎖からシアル酸を脱離する加水分解酵素であるシアリダーゼと胃酸がシアル酸含有糖鎖の消化を担っていること、シアル酸が腸管を介して血中へと吸収されることを明らかにしました。発表では、糖鎖生物学分野で最先端の研究をしている研究者の方々から質問やアドバイスをいただき、非常に学びの多い時間となりました。シアリダーゼの研究を先進している方とも議論を交わし、様々な角度からの研究の捉え方を知るとても貴重な経験ができました。自身の研究に対して「Very interesting!」と反応してくれる方もいっしょり、研究への意欲が益々高まりました。

今回が初めての国際学会への参加であり、英語で話すことには大変苦労しました。会話をうまく広げられず英語力の未熟さを痛感する悔しい経験もしましたが、自身の考えが相手に伝わった際には議論が活発化し、嬉しさを感じるとともに、今後の研究に繋がる知見を得ることができました。また、世界中から参加している他の研究者の方々の発表も非常に興味深く、自身の研究に活かすことのできる知識を身につけることができました。

本学会を通してグローバルな考え方に触れ、研究の捉え方や視野が広がりました。参加をご支援いただき、誠にありがとうございました。今後も、この経験を糧に、より一層研究に励んでいきたいと思っております。

薬食生命科学総合学府 薬科学専攻 博士前期課程 2 年
生化学講座 中尾 初音

